

参考資料 1 - 1

子どもの発達段階における重視すべき課題

発達段階	幼児期	学童期		青年期	
		小学校低学年	小学校高学年	中学校	高等学校
重視すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ○愛着の形成 ○人に対する基本的信頼感の獲得 ○基本的な生活習慣の形成 ○十分な自己の発揮と他者の受容による自己肯定感の獲得 ○道徳性や社会性の芽生えとなる遊びなどを通じた子ども同士の体験活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○「人として、行ってはならないこと」についての知識と感性の涵養や、集団や社会のルールを守る態度など、善悪の判断や規範意識の基礎の形成 ○自然や美しいものに感動する心などの育成（情操の涵養） 	<ul style="list-style-type: none"> ○抽象的な思考の次元への適応や他者の視点に対する理解 ○自己肯定感の育成 ○自他の尊重の意識や他者への思いやりなどの涵養 ○集団における役割の自覚や主体的な責任意識の育成 ○体験活動の実施など実社会への興味・関心を持つきっかけづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○人間としての生き方を踏まえ、自らの個性や適性を探求する経験を通して、自己を見つめ、自らの課題と正面から向き合い、自己の在り方を思考 ○社会の一員として他者と協力し、自立した生活を営む力の育成 ○法やきまりの意義の理解や公德心の自覚 	<ul style="list-style-type: none"> ○人間としての在り方生き方を踏まえ、自らの個性・適性を伸ばしつつ、生き方について考え、主体的な選択と進路の決定 ○他者の善意や支えへの感謝の気持ちとそれに応えること ○社会の一員としての自覚を持った行動

注) 子どもの徳育に関する懇談会「子どもの徳育の充実に向けた在り方について（報告）」（平成21年9月、文部科学省）により作成